

Q どうする選挙公約

A できるだけ実行したい



鮫島 春男議員

町長は当選して、既に3年が過ぎ、当時6項目の公約をしたが、公約の意味ととらえ方は

町長

公約とは、社会、町民との約束ごとと思う。公約どおり実行できないができるだけしたい。

武道城構想、スーパー
スタジアムは

鮫島議員

町民の皆さんが一番期待している武道城ですが、今年の六月議会で、「あす

ばる大崎」周辺という答えだったが実現するのか。

任期中には無理

町長

武道城は、私がやりたいたと思っていた仕事のひとつですが、プロジェクトチームなどを作り検討しましたが、四年間の任期中は何もできない。

テニスコートは

鮫島議員

昨年十二月議会でテニスコートのことを質問したが、いつ頃できるか。

18年度を目指して

町長

来年はできないが、18

年度を目指してやって行く。

湧水分化構想は

鮫島議員

この構想を語れば、とめどなく話が弾むと新聞等を書いてあるがどうか。

できなくなった

町長

三文字商店街活性化のため、みなさんと話し合いをしたが、これはできなくなった。

産業公社の問題は

鮫島議員

農業に従事している方々は、良いアイデアと思いい、ぜひ進めてもらいた

いとの声があるのだが、町長の考えは、

公社はつくれない

町長

産業公社の中に、機械センターや大型農業の作業委託を考えたが、状況の変化で産業公社についてはつくれない。今後は「あすばる物産館」などを視野に入れ、模索しながらやって行きたい。

行政改革に
取り組む姿勢は

鮫島議員

町職員の給与は15億3千300万円余りだが、4人の給料削減は600万円位である。給与特例の予算効果はどうか。また、行政改革を進める上で、全体計画、財政改革プログラムをつくるべきと考えるが、

給与削減が
行財政改革への
取り組みの第一歩

町長

直接的な削減効果より、町四役が行財政改革に取

組む厳しい姿勢を打ち出すことで、大きな効果が期待できる。行財政改革プログラムについては、来年3月中の策定に向けて実施中です。



▲計画が予定されている「あすばる大崎」周辺